



WEEKLY REPORT

高山中央ロータリークラブ

2024～2025 年度 高山中央 RC 会長テーマ

美しい調和 「beautiful harmony」



◆会長 堀口 裕之 ◆幹事 高橋 厚生 ◆会報委員長 中屋 出 ◆会報担当 角竹 正至

創立 1991 年 5 月 20 日

<出席報告>

◇事務局 高山市本町1-2

飛騨信用組合本町サテライト出張所 3階

TEL:0577-36-0730/FAX:0577-36-1488

◇例会場 ひだホテルプラザ 3F/TEL:0577-33-4600

◇例会日 毎週月曜日 PM12:30～

◇ホームページ <http://www.takayamacrc.jp/>

	会員数	出席会員	出席数	Make-up	出席率
本日 1379 回	54 名	54 名	40 名	—	74.07%
前々回 1377 回	54 名	54 名	44 名	0 名	81.48%

●点 鐘

●ロータリーソング

それでこそロータリー

●ビジター・ゲストの紹介

●会長の時間

会長 堀口 裕之

本日の例会プログラムは研修委員会による「クラブプロジェクトの企画・運営方法に関する研修」です。大原委員長よろしくお願ひいたします。



さて先週に引き続き今月の月間テーマである「疾病予防」についてお話しさせていただきます。世界で数百万人が病気によって苦しむ、貧困を強いられています。ロータリーが疾病の予防と治療に力を注ぐのは、このためです。

病気は何もせずに予防できるものではありません。命にかかわる病気の蔓延を食い止め、予防を徹底させるために、ロータリーはさまざまなプロジェクトを実施しています。

きれいな水の提供。ガーナでは、他団体と協力して国内全人口の 80%以上にきれいな水を提供し、ギニア虫感染症を予防しています。

HIV 感染の減少。リベリアでは、妊娠初期の女性たちへの HIV 検査を支援しています。2 年間で HIV の母子感染を 95%減らすことをめざして、出産前ケアを推進しています。

ポリオの根絶。私たちは、ポリオを世界から根絶する活動で、大きな役割を果たしてきました。懸命な活動により、世界のほぼすべての国からポリオがなくなっただけでなく、エボラ出血熱などのほかの疾病の追跡システムにも活用できるインフラが構築されました。ポリオ根絶の実現まであと少しです。

皆さん、良いことをしましょう。どのような仕事

であれ、自分一人のできることはわずかなもので、目には見えない多くの人々の力を得て初めて成し遂げられるものです。

まず志を同じくする仲間をつくり、その上で一人ひとりがどのような役割を担い、実行するかを理解すれば、あとは前進あるのみだ。これは元英国首相のジョン・メジャー氏の言葉です。

志を同じくする仲間とは高山中央ロータリークラブの皆様です。一人ひとりがどのような役割を担い、実行するかを理解するためには例会に参加しロータリーを理解することが必要です。皆さん、良いことをしましょう。

●幹事報告

幹事代理 熊崎 元康

◎国際ロータリー第 2630 地区
ガバナー事務所より

・2027-2028 年度ガバナー候補者の推薦について

○可児ロータリークラブより

・創立 50 周年記念式典のご案内

日時：2025 年 3 月 16 (日) 14:00～

会場：可児市文化創造センター 及び

グリーンキャメロット



研修委員会

委員長 大原 誠

「クラブプロジェクトの企画・運営方法に関する研修」

ロータリークラブの研修委員会の役割として、新会員のオリエンテーション、会員教育、リーダーシップ育成等がありますが、それらを行う際、プロジェクトマネジメントの手法を取り入れることで、効果的かつ効率的に活動を進められます。



プロジェクトマネジメントとは、各種クラブ活動と、その成果を高める上で、計画、実行、監視、制御および完了まで、当該プロジェクトを成功させるためのプロセスを体系的に管理する方法です。ロータリークラブのプロジェクトマネジメントの手法は、一般的なプロジェクトマネジメントの原則を適用しながら、ロータリークラブの特有の目標や価値観を反映させるもので、以下に具体的なステップを紹介します。

1. プロジェクト計画

目的と目標の設定：プロジェクトの具体的な目的と達成すべき目標を明確にする。

スコープの定義：プロジェクトの範囲と制約を定義し、関与するメンバーと共有する。

タイムラインの作成：重要なマイルストーンとデッドラインを設定し、スケジュールを作成する。

2. メンバーの役割と責任

チームの編成：プロジェクトに必要なスキルと経験を持つメンバーを選定し、役割を割り当てる。

責任の明確化：各メンバーの役割と責任を明確にし、期待される成果を伝える。

3. コミュニケーションとコーディネーション

定期ミーティング：プロジェクトの進捗状況を確認するための定期的なミーティングを設定する。

透明性の確保：プロジェクトの進行状況や問題点を全てのメンバーに共有し、透明性を維持する。

4. リスク管理

リスクの特定と評価：プロジェクトに影響を与える可能性のある潜在的なリスクを特定し、評価する。

リスク対応策の策定：リスクに対する対応策を講じるプロセスを文書化する。

5. 進捗管理と評価

進捗管理：プロジェクトの進行状況を定期的に追跡し、予定と実績の差異を分析する。

成果の評価：プロジェクトが終了した際は、達成された成果を評価する。

6. フィードバックと改善

フィードバックの収集：プロジェクト終了後にメンバーからフィードバックを収集し、今後のプロ

ジェクトに生かす。

継続的な改善：収集したフィードバックを基にプロジェクトマネジメントの手法を改善し、次のプロジェクトに適用する。

ロータリークラブの事業において、プロジェクトマネジメントの手法を活用してプロジェクトを効果的に管理することにより、ロータリークラブの価値観や倫理を尊重しながら全メンバーが協力し合うことが求められます。



以上

< ニコニコ BOX >

次男がキャプテンを務める高山西高校バスケット部がウインターカップ全国大会に出場する事となりました。西高校としては長男がキャプテンの時に続き5年ぶり2度目の出場です。12/23が初戦ですので当クラブの忘年例会と重なってしまいますが、東京大育会にて観戦させていただきますので例会を欠席させていただきます。昨日も昨年のインターハイ全国大会の優勝チーム、日本航空山梨と練習試合をし勝利してまいりましたので、ベスト8も見えて参りました。応援の程よろしくお願い致します。合わせてご協賛も受け付けておりますのでよろしくお願い致します。

角竹 正至

先日、高山西ロータリークラブに卓話に行ってきた。他のロータリークラブの例会に参加するのは初めてでとても緊張しました。同じ高山市のクラブですが雰囲気が違うんだなと思いました。良い経験になりました。前越 路子

本日は申し訳ありませんが早退します。よろしくお願ひします。鶯塚 英雄